

とうもろこし(サイレージ用)の新しい品種

作物科 林 拓

(E-mail: thayashi@agri.pref.hokkaido.jp)

平成19年度に北海道優良品種として認められ、根釧地域で利用可能な品種をご紹介します。

とうもろこし「クウイス」

ドイツの種苗会社が育成し、ホクレンが導入したRM73日相当(極早生)の品種です。

根釧地域でマルチ無しでとうもろこしを栽培するには、(かなりの冷涼地など栽培そのものが難しい場所でないことを前提とします。) 熟期がなるべく早い品種を使うことが重要です。

「クウイス」は「エマ」と比較して、収穫時の熟度はやや進み、雌穂の乾物率は高いのが大きな利点です(図1)。つまり、熟期は相当早いといえます。

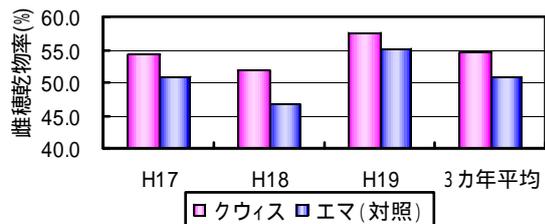


図1. 収穫時の雌穂の乾物率(%)
根釧農試場内(以下同じ)

収量は「エマ」より多く、極早生品種としては良好な収量性を備えています(図2)。

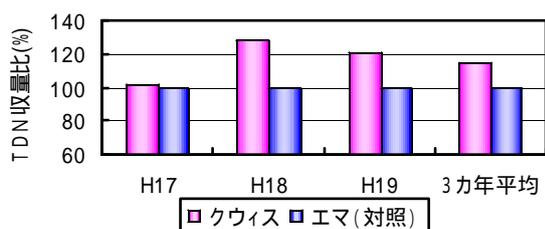


図2. 推定TDN収量の「エマ」比
(「エマ」を100とした指数)

倒伏は「エマ」と同程度ですが、すす紋病には強いと言えます(表1)。

表1. 倒伏個体率とすす紋病罹病程度(試験年次の平均)

	倒伏(%)	すす紋病(1-9基)	
		農試圃場	北農研
クウイス	28.5	2.4	4.0
エマ	30.4	3.8	6.0

注) 倒伏個体率には折損を含む。

すす紋病; 「農試圃場」は自然発生、「北農研」は人工発生。

草姿は、アップライト(立ち型)で、稈長は長いです(写真1)。



写真1. 「クウイス」の草姿



写真2. 「クウイス」の雌穂